



拡張ビデオ MPEG 機能

Cisco cBR シリーズ コンバージドブロードバンドルータは、次のビデオ機能をサポートしています。

- [拡張ビデオ MPEG 機能に関する情報, 1 ページ](#)
- [高度なビデオ MPEG 機能の設定方法, 2 ページ](#)
- [高度なビデオ MPEG 機能の設定例, 2 ページ](#)
- [高度なビデオ MPEG 機能の機能情報, 2 ページ](#)

拡張ビデオ MPEG 機能に関する情報

予約済出力 PID の範囲

予約済出力 PID の範囲では、再マップ済セッションの出力として使用されない PID の範囲を指定できます。1～8190 の範囲で最大 4000 個の PID を予約できます。

シャーンごとに 1 つの連続した予約済 PID の範囲がサポートされます。保護は将来出力される再マップされた PID に対してのみ有効なので、予約済 PID の範囲は、再マップ済セッションが作成される前に設定することが想定されています。既存の予約済範囲内の再マップ済 PID は再割り当てされません。

高度なビデオ MPEG 機能の設定方法

予約済出力 PID 範囲の設定

予約済出力範囲を設定するには、次の手順に従います。

```
enable
configure terminal
cable video
reserve-pid-range start-pid-end-pid
```

予約済出力 PID 範囲の設定確認

予約済出力 PID 範囲の設定を確認するには、次の例に示すように **show cable video logical-edge-device id idreserve-pid-range** コマンドを使用します。

```
Router# show cable video logical-edge-device id 1 reserve-pid-range
Logical Edge Device: led1
Id: 1
Reserve PID Range: 1-4000
```

高度なビデオ MPEG 機能の設定例

このセクションでは、高度なビデオ MPEG 機能の設定例を示します。

例：予約済出力 PID 範囲の設定

次に、予約済出力 PID 範囲を設定する例を示します。

```
enable
configure terminal
cable video
reserve-pid-range 4000-4100
```

高度なビデオ MPEG 機能の機能情報

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator を使用すると、ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、フィーチャセット、またはプラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 次の表は、特定のソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースのみを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

表 1 : 高度なビデオ MPEG 機能の機能情報

機能名	リリース	機能情報
高度なビデオ MPEG 機能	Cisco IOS XE Everest 16.5.1	この機能は、Cisco cBR シリーズ コンバージドブロードバンド ルータ上の Cisco IOS XE Everest 16.5.1 に統合されました。

